

JTA、新デザイン機就航 ～うちなーの翼、日本の翼～

2011年7月4日
第11023号

日本トランスオーシャン航空（JTA、本社 那覇市、社長 佐藤 学）では、7月中旬より新デザイン機が就航致します。

新しい機体デザインは、JALグループロゴの「鶴丸」を尾翼に配置するとともに、県民の翼として「沖縄らしさ」をプラスして沖縄の心とおお客様の夢を乗せて飛んで参ります。

JTAは、今後とも地元沖縄に軸足を置く航空会社として、地元の皆様からご愛顧頂きますよう、引き続きお客様へ最高のサービスを提供して参りますので、皆様のご愛顧の程宜しくお願い致します。

■ 塗装機について

- ・機材 ボーイング737-400型機（座席数 150席）
- ・就航路線 JTA全路線に就航予定
- ・初号機 7月中旬より就航予定
- ・塗装箇所：添付参照

■ デザインの紹介

1. 機体全体のデザインについて

鶴丸のロゴマークは、JALグループ全社員が創業当時の精神に立ち返り、これまで培った「おもてなしの心」を守りつつ、新たな領域に果敢に挑戦する精神・決意を表しており、JALグループ社員の新しい行動の決意の表れでもあります。また、そこに沖縄らしさをプラスすることで、県民の皆様にJTAを身近に感じて頂きたい、というメッセージを込めています。

2. 「うちなーの翼」に込めた想い

「うちなー」は「沖縄」を意味する方言で、最近では県内だけでなく県外でも認知度が高まってきました。「うちなーの翼」のフレーズを通じて、お客様とのコミュニケーションを育み、ご搭乗の皆様へ沖縄らしさを伝えていきたいと思っております。また、「乗るならJTA」と県民の皆様からいつもお選び頂ける航空会社を目指し、お客様へ最高のサービスの提供に努めて参ります。

また、南十字星をモチーフに南の島々を連想させるデザインは、沖縄のホスピタリティである柔らかさ・優しさを表現しています。

さらに、南西航空時代のつばめデザインとイメージカラーであったオレンジを採用することで、社員が原点・初心に戻り、JTAのこれからの発展に向け、強い精神で様々な状況に挑戦していこうという想いを込めています。

3. でいごの花に込めた想い

「でいご」の花言葉は、「夢・希望」であり、根を深く張って強いという特徴があります。沖縄の県花であることから県民にとっては親しみ深く、沖縄に根を下ろして、お客様の夢と希望を乗せて飛び続けるという想いを込めています。

また搭乗口にデザインすることで、県内外のお客様をおもてなしの心でお迎えするとともに、ご搭乗のときから南国沖縄を感じて頂きたいと思っております。

花の色は、鶴丸カラーのJALレッドと南西航空時代のオレンジを組合せ、JALグループが一丸となるメッセージを込めています。

以 上







うちないの翼

